

株主の皆様へ

第2四半期報告書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)



Matsumoto KiYoshi
Holdings



株式会社
マツモトキヨシ
ホールディングス

グループ経営理念

あなたにとっての、いちばんへ。

1st for You.

私たちは、
すべてのお客様のために
まごころをつくします。

私たちは、
すべてのお客様の
美と健康のために
奉仕して参ります。

私たちは、
すべてのお客様にとって、
いちばん親切な
お店を目指します。

企業の更なる飛躍を象徴する、
3つの成鳥（誠聴・整調・成長）を念頭に
CI（コーポレートアイデンティティ）が誕生

マツモトキヨシの静的な“3羽の鳥”のイメージから
動的な“飛躍する成鳥”へと進化し、
3つのせいちょう（成鳥）の意味を持たせたCIを導入いたしました。

1. 誠聴：誠実にお客様の声を聴きます。
2. 整調：美と健康の分野において、お客様の調子を整えます。
3. 成長：上記2つをもって、マツモトキヨシホールディングスグループは成長します。

※独自に意味づけした造語となります。

「2015年度グループ売上高1兆円、 2000店舗」の実現へ向けて



代表取締役社長兼COO
吉田 雅司

代表取締役会長兼CEO
松本 南海雄

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社の第3期第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の業績及び企業活動の概要についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるドラッグストア業界は、世界的な景気後退の影響を受け、雇用情勢並びに所得環境の悪化から生活防衛意識や節約志向が高まり、引き続き個人消費は低迷し厳しい状況となりました。また、価格意識の高まりを受け同業他社を含めた価格競争や本年6月1日に改正施行されました薬事法の影響による販売手法の変更等、業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況において、当社グループは、グループ経営理念「1st for you. あなたにとっての、いちばんへ。」を基本として、常にお客様の視点に立ち、多様化するニーズに応えるべく「信頼」と「満足」をより向上させるために4つの施策を実践してまいりました。

その施策は、①お客様の悩みを内外から解決できるサービスを実現するためのコミュニケーションやカウンセリングの強化、②地域のニーズに合った品揃えの充実、③ロイヤルカスタマーの醸成に向けた販促施策の展開、④低価格、高品質かつ付加価値の高いプライベートブランド商品の開発等に注力いたしました。

このような営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は増収増益となり、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は過去最高を更新いたしました。

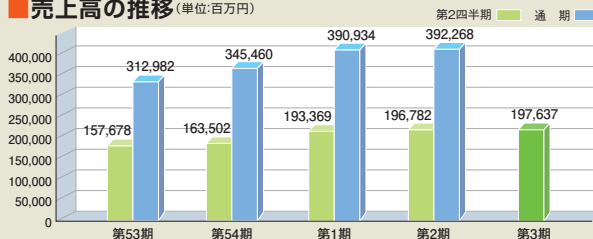
改正薬事法を契機として、これまでのドラッグストア業界の環境は大きく変動していくことが予想されますが、これをチャンスとして捉え当社グループは、各地域に真に必要とされる「地域に密着したかかりつけ薬局」となるために「専門性」と「利便性」をグループ全社が一丸となって追求し、お客様から支持される事業活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの事業活動に引き続きご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

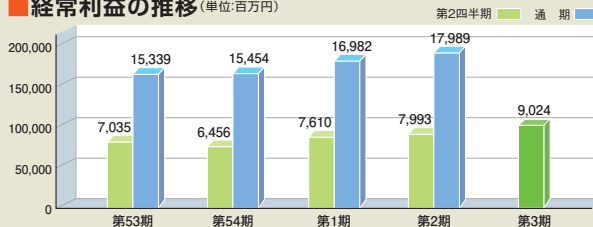
平成21年12月

第2四半期連結財務ハイライト

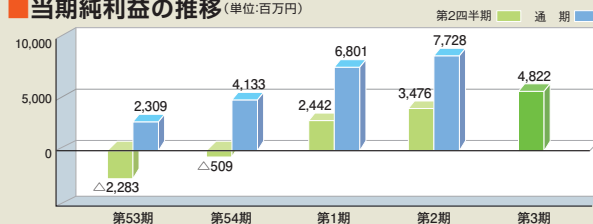
売上高の推移 (単位:百万円)



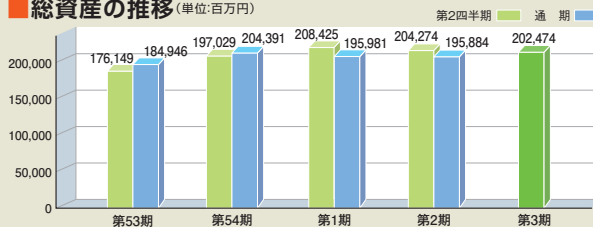
経常利益の推移 (単位:百万円)



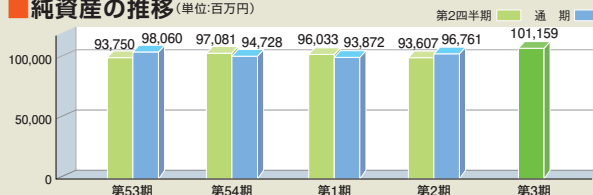
当期純利益の推移 (単位:百万円)



総資産の推移 (単位:百万円)



純資産の推移 (単位:百万円)



(注) 1. 第53期、第54期及び第1期第2四半期の数字は、株式会社マツモトキヨシ(連結)のものです。

2. 第1期通期の数字につきましては、平成19年10月1日付で設立された株式会社マツモトキヨシホールディングスが、完全子会社となった株式会社マツモトキヨシの連結財務諸表を引き継ぎ、期首に設立されたものとみなして作成しております。

四半期連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表 ●

(単位：百万円)

科 目	前期末 平成21年3月31日現在	当第2四半期末 平成21年9月30日現在
●資産の部		
流動資産	80,434	87,076
現金及び預金	11,344	17,999
受取手形及び売掛金	10,259	10,729
商品	45,537	46,536
貯蔵品	1,419	1,295
その他	12,029	10,663
貸倒引当金	△155	△148
固定資産	115,449	115,398
有形固定資産	57,720	57,968
土地	41,650	41,645
その他	16,069	16,323
無形固定資産	9,911	9,475
のれん	6,669	6,375
その他	3,241	3,099
投資その他の資産	47,818	47,954
敷金及び保証金	33,611	33,076
その他	15,117	15,808
貸倒引当金	△911	△930
資産合計	195,884	202,474

科 目	前期末 平成21年3月31日現在	当第2四半期末 平成21年9月30日現在
●負債の部		
流動負債	74,479	80,540
支払手形及び買掛金	52,833	56,571
1年内償還予定の社債	50	—
1年内返済予定の長期借入金	5,091	7,325
未払法人税等	2,734	4,268
賞与引当金	2,483	2,744
ポイント引当金	1,779	2,305
その他	9,506	7,325
固定負債	24,643	20,774
長期借入金	16,600	12,550
退職給付引当金	3,441	3,902
負ののれん	427	134
その他	4,174	4,187
負債合計	99,122	101,314
●純資産の部		
株主資本	96,878	100,746
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	68,809	72,678
自己株式	△14,883	△14,884
評価・換算差額等	△1,259	△840
その他有価証券評価差額金	△1,259	△840
少数株主持分	1,142	1,252
純資産合計	96,761	101,159
負債純資産合計	195,884	202,474

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態の状況は、以下のとおりであります。

- ・総資産は2,024億74百万円となり、前連結会計年度末と比較し65億89百万円増加となりました。主な増加要因は、現金・預金66億55百万円等です。
- ・負債合計は1,013億14百万円となり、前連結会計年度末と比較し21億92百万円増加となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金37億37百万円等です。主な減少要因は、長期借入金（1年内返済予定を含む）18億16百万円等です。
- ・純資産合計は1,011億59百万円となり、前連結会計年度末と比較し43億97百万円増加となりました。主な増加要因は、当第2四半期連結累計期間純利益48億22百万円等です。主な減少要因は、配当金9億53百万円です。

② 業績の状況

- ・当第2四半期連結累計期間の業績は、厳しい経済環境ながらも、顧客ニーズに合った商品の展開、コンサルティングの強化、PB商品・新型インフルエンザ関連商品の充実、新規出店、FC向け卸売の伸長等により、売上総利益の確保を図り、効率かつ効果的な販促施策を実施するなど販売費及び一般管理費の削減に努めました。この結果、増収増益となり売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は過去最高を更新いたしました。

③ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは112億78百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益83億25百万、仕入債務の増加額37億37百万、法人税等の還付額16億71百万円等です。主なマイナス要因は、法人税等の支払額32億74百万円等です。
- ・投資活動によるキャッシュ・フロー16億28百万円の支出となりました。主なプラス要因は、敷金及び保証金の回収による収入7億66百万円等です。主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出12億9百万、敷金及び保証金の差入による支出6億46百万円無形固定資産の取得による支出4億1百万円等です。
- ・財務活動によるキャッシュ・フロー29億94百万円の支出となりました。主なマイナス要因は、長期借入金の返済による支出18億16百万、配当金の支払額9億53百万円等です。

● 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 平成20年4月 1 日から 平成20年9月30日まで	当第2四半期 平成21年4月 1 日から 平成21年9月30日まで
売上高	196,782	197,637
売上原価	143,376	143,588
売上総利益	53,436	54,048
販売費及び一般管理費	46,171	46,023
営業利益	7,264	8,024
営業外収益	1,073	1,179
営業外費用	344	180
経常利益	7,993	9,024
特別利益	46	28
特別損失	1,258	727
税金等調整前四半期純利益	6,781	8,325
法人税、住民税及び事業税	3,871	4,250
法人税等調整額	△649	△848
少数株主利益	82	101
四半期純利益	3,476	4,822

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 平成20年4月 1 日から 平成20年9月30日まで	当第2四半期 平成21年4月 1 日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,487	11,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,400	△1,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,329	△2,994
現金及び現金同等物の増減額	△242	6,655
現金及び現金同等物の期首残高	16,866	11,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,623	17,986

■ 第3期中間配当金のお知らせ

第3期中間配当金は、平成21年11月13日開催の取締役会で1株につき10円と決議いたしました。なお、配当金の効力発生日並びに支払開始日は平成21年12月7日となります。

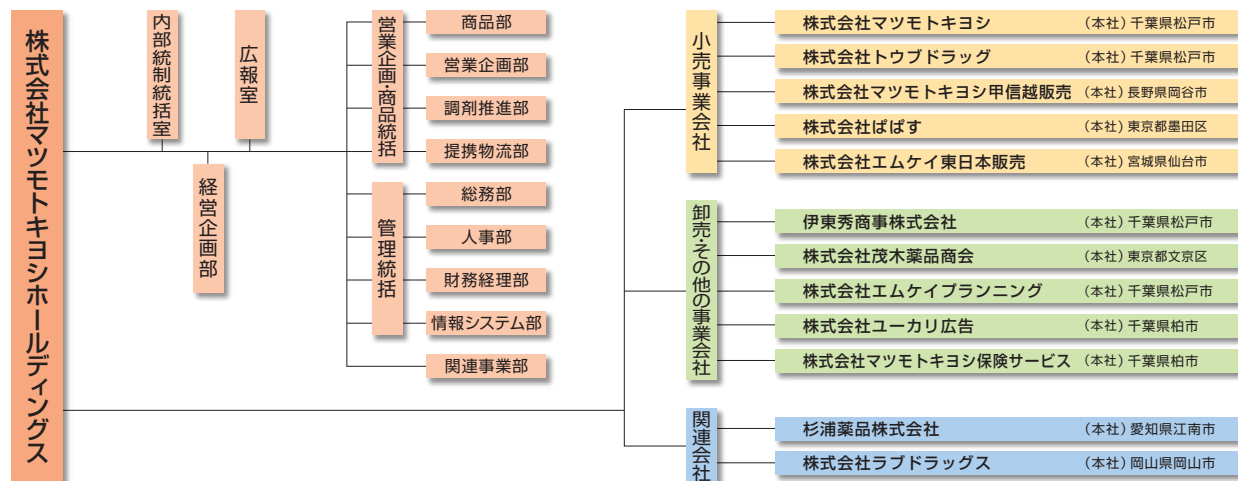
(注) 従来、株主の皆様には「中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りすることにより中間配当に関するご案内を行ってまいりましたが、当中間配当のご案内より、同はがきの郵送を廃止させていただくこととなりました。

今後はこれに替えて、当社ホームページにて中間配当に関する事項をご案内させていただきますので、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

当社ホームページ：http://www.matsumotokiyo-shi-hd.co.jp/

グループネットワーク (平成21年9月30日現在)

マツモトキヨシホールディングス ネットワーク



マツモトキヨシホールディングス グループ会社 (小売事業会社)



(株)マツモトキヨシ (本社) 千葉県松戸市



(株)トウブドラッグ (本社) 千葉県松戸市



(株)ばばず (本社) 東京都墨田区



(株)マツモトキヨシ甲信越販売 (本社) 長野県岡谷市

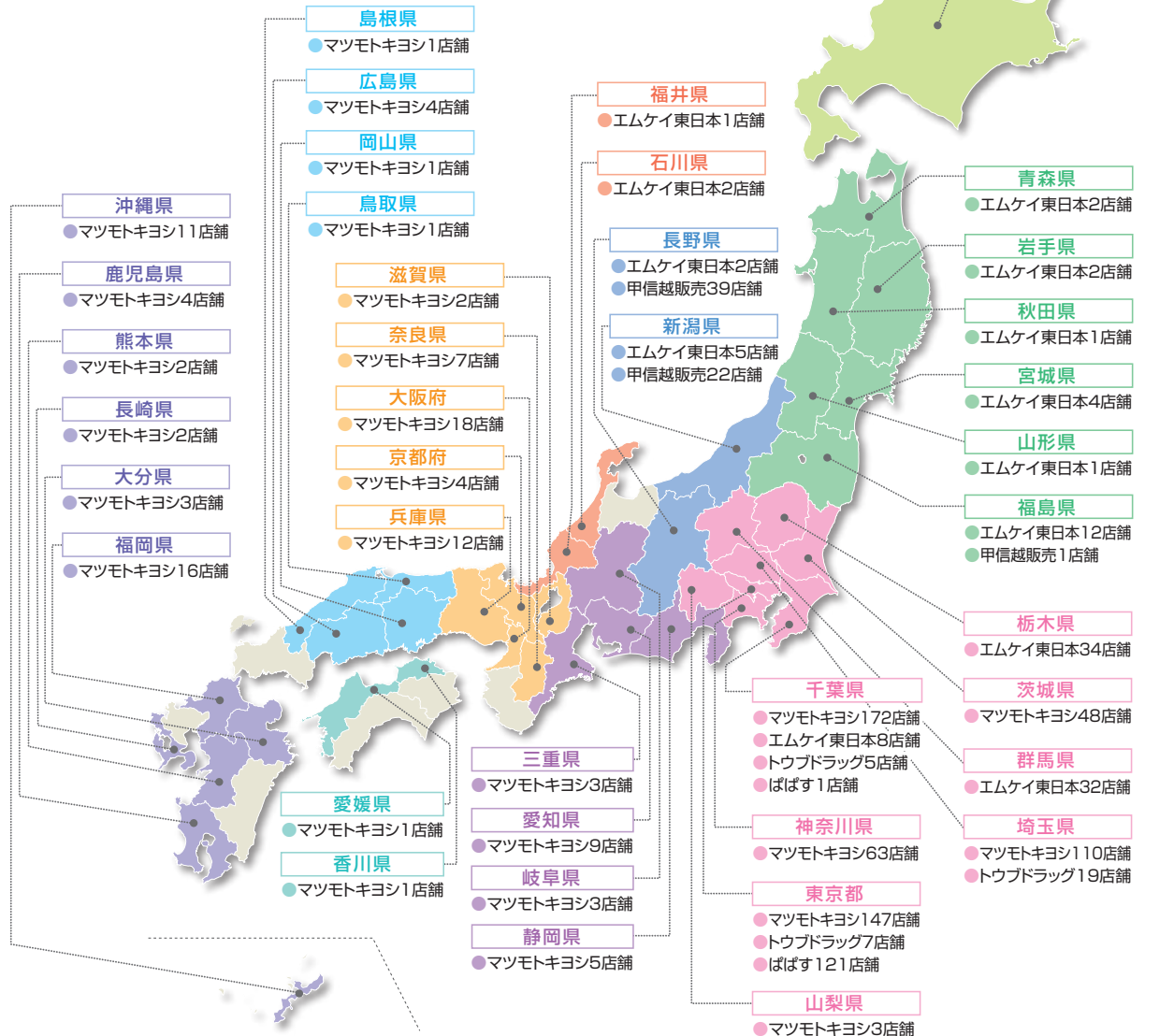


(株)エムケイ東日本販売 (本社) 宮城県仙台市

店舗総数

976店舗

マツモトキヨシ(FC店舗・ホームセンター・NET店舗含む).....	653店舗
エムケイ東日本販売.....	108店舗
ぱぱす.....	122店舗
トウブドラッグ.....	31店舗
マツモトキヨシ甲信越販売.....	62店舗



(注)エムケイ東日本販売は「エムケイ東日本」、マツモトキヨシ甲信越販売は「甲信越販売」と表記しております。

トピックス

改正薬事法への対応

平成21年6月1日に改正施行された薬事法により、当社グループでは、これまで以上に専門性を追求し「地域に密着したかかりつけ薬局」の実現に向けて、薬剤師、登録販売者の店舗での役割を一層重要視しております。そのため、当第2四半期では、資格保有者（主に薬剤師、登録販売者）の専門知識とお客様とのコミュニケーション（カウンセリング）能力を一層強化するため、従来実施してきた集合研修に加えて、社内通信を利用した研修、インターネット学習等を実施してまいりました。

薬剤師向けの研修としては、最新の医療情報と第1類医薬品を中心とした医薬品に関する知識を習得する研修を行い、また、調剤担当者に対しては、それに加えて地域医療に貢献できるよう、別途専門の研修を実施しております。登録販売者向けの研修としては、ケーススタディを用いた実践形式の研修で知識を応用する訓練を実施しております。また、今後の登録販売者試験の受験者に対しても、更なる合格者を目指し、引き続き集合研修、自己学習支援も行っております。



株式会社ローソンとの業務提携

当社は、平成21年8月24日に株式会社ローソンと業務提携基本契約を締結いたしました。本提携は、「医食同源」を事業のテーマとして、急速に進む高齢化社会において、お客様が求める「健康で快適な生活」の実現に向けて、両社のお客様に対して、付加価値が高く専門性に優れた商品・サービスの提供、同業他社との差別化を図るための新たな店舗作りをめざしてまいります。

また、本提携の第1弾として、両社の専門ノウハウの習得を目的として相互で「人材交流」を平成21年10月1日より開始しております。今後も、本提携の実現に向けて、新業態の開発・運営を展開する合併会社の設立、既存プライベートブランド商品の相互供給など、シナジー創出を目指して積極的に展開してまいります。



株式会社マツモトキヨシ甲信越販売の誕生

当社は、完全子会社である株式会社健康家族（存続会社）及び株式会社マックス（消滅会社）を平成21年7月1日をもって合併し、社名を株式会社マツモトキヨシ甲信越販売として新たにスタートいたしました。

本合併により、地域に密着した事業展開を一層強化し、両社（旧健康家族及び旧マックス）の基盤となっている長野県・新潟県を含む甲信越地域での競争力を高めてまいります。そのため、相互の人材交流による更なる専門性の強化、効率的な事業運営、地域・お客様のニーズに合わせた商品展開に努め、甲信越地域におけるシェアの拡大に努めてまいります。

会社概要

名 称：株式会社マツモトキヨシ甲信越販売

所在地：長野県岡谷市赤羽一丁目4番18号

代表者：代表取締役社長 麻田 正義

資本金：1億7,092万5,000円

店舗数：62店舗（平成21年9月30日現在）

新業態店舗「Medi+マツキヨ」の開設

当社の完全子会社である株式会社マツモトキヨシは、コンビニ型ファーマシーとして「Medi+マツキヨ」の1号店を平成21年7月13日にオープンいたしました。

「Medi+マツキヨ」は、多様化するお客様のニーズに対応するために「利便性」を追求し、駅構内などの小スペースで医薬品に特化した店舗スタイルとして展開してまいります。

店舗概要

名 称：Medi+マツキヨ都営五反田店
（メディプラスマツキヨ）

所 在 地：東京都品川区東五反田1-26-2
都営浅草線「五反田駅」地下1階コンコース

営業時間：（平日）7時30分～22時
（土日・祝日）8時～21時 ※定休日なし

取扱商品：第2類・第3類医薬品の販売を中心に
健康食品、栄養補助食品、医療生活雑貨 等



トピックス

プライベートブランド商品「MKカスタマー」



「MKカスタマー」とは？



セルフメディケーションを
サポートするマツモトキヨシ
が、お客さま視点で開発
したオリジナル商品です。

明日の肌に自信がありますか？



新スキンケア
シリーズ
レチノタイム。



「e!マツモトキヨシ」をリニューアルオープン



当社の完全子会社である株式会社マツモトキヨシが
運営している通販サイト「e!マツモトキヨシ」を平成
21年7月1日にリニューアルオープンいたしました。

当サイトでは、マツモトキヨシの店舗で販売してい
る健康食品・化粧品・日用品・食品を中心に、店舗で
は取り扱っていないWEB限定商品も掲載しておりま
す。また、お客様の様々な悩みに応じた商品紹介の
コーナーも設けております。通信販売のニーズに対応
するため一層充実したWEBサービスを展開してまい
ります。



マツモトキヨシ通販サイト「e!マツモトキヨシ」
<http://www.e-matsukiyo.com>

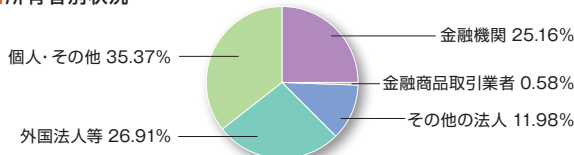
株式の状況 (平成21年9月30日現在)

■発行可能株式総数	210,000,000株
■発行済株式の総数	53,579,014株
■株主数	9,419名
■大株主（上位10名）	

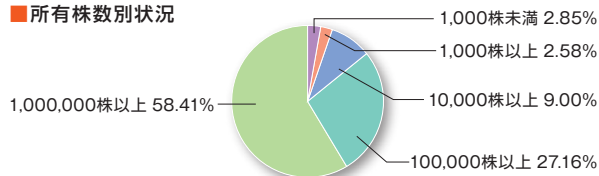
株主名	所有株式数(単位:千株)
松本鉄男	5,615.4
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウン アメリカンクライアント(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	4,708.6
松本南海雄	4,169.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,803.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,269.4
株式会社千葉銀行	2,147.8
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユースタックス エグゼンテッドベンションファンズ(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	1,997.4
株式会社南海公産	1,743.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	945.1
エーザイ株式会社	707.5

(注) 当社の自己株式 5,837.3 千株は上記の表から除いております。

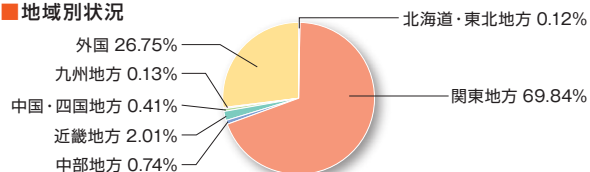
■所有者別状況



■所有株数別状況



■地域別状況



会社概要 (平成21年9月30日現在)

会社概要

名 称 ● 株式会社マツモトキヨシホールディングス
 所 在 地 ● 〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1
 電 話 番 号 ● 047-344-5110 (代表)
 会 社 設 立 ● 平成19年10月1日
 資 本 金 ● 210億86百万円
 事 業 内 容 ● 子会社の管理・統括および商品の仕入・販売
 従業員数(連結) ● 正社員： 4,498名
 パート： 5,947名(8時間換算)
 合 計： 10,445名

■ 役員

代表取締役会長兼CEO	松本 南海雄
代表取締役社長兼COO	吉田 雅司
専務取締役兼CFO	成田 一夫
専務取締役	松本 清雄
取締役相談役	松本 鉄男
取締役	根津 孝一
社外取締役	大爺 正博
社外取締役	小林 諒一
社外取締役	湯淺 紀男
常勤監査役	大森 哲夫
社外監査役	鈴木 哲
社外監査役	諸星 健司
社外監査役	田井村 政人

■ 本社



グループ企業一覧

株式会社マツモトキヨシ
株式会社トウブドラッグ
株式会社マツモトキヨシ甲信越販売
株式会社ぱぱす
株式会社エムケイ東日本販売
杉浦薬品株式会社

株式会社ラブドラッグス
伊東秀商事株式会社
株式会社茂木薬品商会
株式会社エムケイプランニング
株式会社マツモトキヨシ保険サービス
株式会社ユーカリ広告

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-7111(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部(証券コード3088)
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/3088/3088.html ※事故、その他やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載

「株主アンケート」ご協力のお願い

今回、本報告書に「株主アンケート」を同封しております。
ご協力下さいますようお願いいたします。

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1

TEL. 047-344-5110(代表)